

別紙 3

3 選択評価事項C（教育の国際化の状況）

→「目的の達成状況が良好である。」（※4段階評価の上から2番目）

◎優れた点4項目、○更なる向上が期待される点1項目、●改善を要する点1項目

【優れた点】

- ◎ 平成24年度に文部科学省「グローバル人材育成推進事業」への採択を機に、Kitakyushu Global Pioneers（北九州グローバルパイオニア）を立ち上げ、幅広い学生のニーズ、レベルに応じた様々な教育プログラムを展開し、グローバル人材を育成している。
- ◎ 海外協定校の積極的な開拓に取り組むことで、多様な交換留学プログラムを設定し、受入・派遣の双方が適切に機能しており、学生の満足度も高い。
- ◎ 国際環境工学研究科が実施している「戦略的水・資源循環リーダー育成（SUW）」事業は、外国人学生を環境リーダーとして認定するとともに、手厚い受入及び支援体制を備えており、当該事業で学んだ修了生は、企業、行政機関や大学・研究分野における基幹的なし中堅的役割を果たし始めている。
- ◎ 国際環境工学部及び国際環境工学研究科では、中国やASEAN地域を対象とした短期留学生受入プログラム「環境未来都市構築のための戦略的エネルギー・環境リーダー育成短期受入れプログラム」を実施しており、毎年60人程度の学生を受け入れている。

【更なる向上が期待される点】

- 副専攻プログラムである Global Education Program は、高い英語能力とともに、留学等の海外体験やインターンシップを修了要件としており、今後の成果が期待される。

【改善を要する点】

- 平成27年度においては北方キャンパスには外国人学生が入居できる寮がないなど、受入学生をサポートする施設・設備が十分でない。

*「教育の国際化の状況」における各項目の水準判定結果

- ・「国際的な環境の構築」については一般的な水準を上回っている。
 - ・「外国人学生の受入」については一般的な水準を上回っている。
 - ・「国内学生の海外派遣」については一般的な水準を上回っている。
- （※いずれも4段階評価の上から2番目）